

計画の名称	八尾市地域住宅等整備計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	八尾市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間住宅等における耐震診断・耐震改修の促進及びリフォームやバリアフリー化の促進</li> <li>・民間賃貸住宅における入居差別の解消</li> <li>・市営住宅の長寿命化及び居住性水準の向上</li> <li>・狭あい道路の解消</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	818	A	781	B	0	C	37	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4.52	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度当初		令和7年度末
1	市営住宅のバリアフリー化率 市営住宅管理戸数のうち、エレベーター設置等が行われた住戸の割合	37%	%	44%
2	狭あい道路の解消 西高安・楽音寺地区、水越・千塚地区、跡部北の町3丁目地区、南久宝寺地区における幅員4m以上の街区内道路の割合	70%	%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	浴室設置25戸、EV設置2棟、長寿命化型改善6棟	八尾市						407		策定済	
	A15-002	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	住宅地区改良事業等	浴室設置30戸、長寿命化型改善9棟、移転促進	八尾市						272		策定済	
												小計						679		
住環境整備事業	A16-003	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の解消250m	八尾市						99		策定済	
											小計						99			
地域住宅計画に基づく事業	A15-004	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	公営住宅等整備事業	移転促進	八尾市						3		策定済	
											小計						3			
											合計						781			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	移転促進	移転補償費	八尾市						13	-	
		居住水準が低い市営住宅に入居する世帯に対し、居住性が確保された市営住宅への移転を促進することで、入居者の居住性の向上を図る。																	
	C15-002	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	住宅相談・住情報提供関連	住宅相談・住宅に関する啓発事業	八尾市						13	-	
		コミュニティ意識の向上を図り、定住促進に寄与する。																	
	C15-003	住宅	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	住宅政策基礎調査	住宅政策等に関する調査	八尾市						11	-	
		多角的かつ総合的な住宅政策の展開を図ることで、地域の活性化を推進する。																	
											小計						37		
											合計						37		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	40				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	40				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	40				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 八尾市地域住宅等整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○



概要を示す図面

